

## ダイアボンド DW4019

ダイアボンドDW4019は、ウレタンフォーム常乾、両面塗布用に開発した、水性スプレータイプの接着剤です。ウェットタックが強いため、クロロプレン溶剤スプレータイプと同様な接着作業が可能です。

### § 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 有機溶剤中毒予防規則の規制を受けません。
3. 消防法危険物の規制を受けません。
4. 常温スプレー後、常温乾燥数十秒で接着できます。
5. 接着直後から強い接着力を示します。

### § 用途

ウレタンフォーム相互

ウレタンフォーム 対 皮, 人工皮革, 布, 不織布

スチレンフォーム 対 木材, スレート, ABS など

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

### § 一般性状

主 成 分	クロロプレンラテックス
外 観	緑色
不 揮 発 分 (%)	56 ± 2
粘 度 (mPa・s) at20℃	10 ～ 150
p H	9
保 証 期 間 (月) at25℃	6

### § 初期接着性

単位 N/25mm

製品番号	DW4019	DW234G	DW246	CK390G
特徴	水性 初期接着性良好	水性 初期接着性良好	水性 ロングタック	溶剤型 初期接着性良好
OT 0 秒	0.5	0	0	2.5
OT 60 秒	3.5	0.5	0.5	5.0
OT 180 秒	5.0	1.5	1.0	7.0
OT 300 秒	7.5	4.5	4.0	9.0

破壊状態はすべて接着剤の凝集破壊

被着材 : ウレタンフォーム

塗布方法 : スプレーガン両面塗布

塗布量片面当たり 80g/m<sup>2</sup>(水性)、150g/m<sup>2</sup>(溶剤型)

オープンタイム : 0・60・180・300 秒

試験方法 : 塗布後、所定のオープンタイムをとった後、掌圧で圧着。圧着直後に  
T 形はく離試験(引張り速度 50mm/分)で測定。

DW4019 は弊社水性既存品番のダイアボンド DW234G、ダイアボンド DW246 よりも初期接着性に優れ、溶剤型のダイアボンド CK390G に近い初期接着性を示します。

## § 注意事項

- ・ スプレーミストがでますので、マスクおよび保護メガネの着用を義務づける必要があります。
- ・ 速乾性のため、ノズル詰まりを起こしやすいので、昼休み、および作業終了後はガン先を水洗いして下さい。
- ・ 水性タイプの接着剤は 5℃以下で、凍結しますので、冬季の保管場所を考慮して下さい。
- ・ 塗布器具にエアースプレーガン、圧送タンクを使用する場合はステンレス製にして下さい。
- ・ その他、接着剤が接触する部分が鉄製やアルミ製の場合もステンレス製にして下さい。
- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気を良くして下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器の洗浄は、使用后ただちに行って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。